

Kyoto Prefecture Hospital Association News

第12号

2018年1月

京都府病院協会ニュース

《発行所》一般社団法人 京都府病院協会 《発行人》香川 恵造 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6 京都府医師会館内
TEL 075-354-6072 FAX 075-354-6074 <http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp/>

新年のご挨拶

会長 香川 恵造



平成30年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は7月の九州北部地方を中心とする豪雨災害、10月には京都府北部での由良川の被害など自然災害の脅威をあらためて感じさせられた一年でした。一日も早い被災地の復興を願うところです。

医療界においては、第7次医療計画の策定にむけた審議、医師をはじめとした医療従事者の需給に関する検討、介護療養病床や7対1入院基本料の在り方について、また地域医療構想での回復期病床の位置づけなど、様々な制度改革のなかで議論されてきました。タイムリミットが迫っている中とはいえ、いずれも腑に落ちるような

結論が得られたとは言い難い状況です。共通して感じるのには制度を実行するための前提条件が満たされていない中で、結論ありき?の議論がなされているように思えるからです。実際、診療報酬は2年毎の短期間で制度変更があり、そのたびに経営環境が変化させられる不安定性、医師の地域偏在が解消されていない中で全国一律の医療提供体制が議論されていることなどです。地方では慢性的に続く医師不足に加え、超高齢化と急速な人口減少が進行します。全国一律の診療報酬体系では地方の医療提供体制を守ることはもはや困難ではないかと思えます。今後、都市部と地方部では医療を支えるマ

ンパワー、患者数、財源など、両者の差異が益々大きくなっていくのは明らかです。今後6年間をカバーする医療計画においてはこれらの変動要素についても考慮が必要ですが、十分なされているとは言えない現状です。

「医師の働き方改革関連法案」についても同様のことがいえます。早ければ2024年にも執行

するという時間設定のみが先行しているように思えます。これを実行するには、医師の地域偏在の解消や多額の手当の財源など、現時点ではかなり困難な課題を解決しておく必要があります。加えて、医師としての職業倫理をどう守っていくかについても議論を重ねることが重要です。多くの先生方が不安に思っているのではないのでしょうか。「責任者出てこい!!」の心境です。大局的な視野を持ち、実行した政策に心からの責任を持つ司令塔が必要では!!と愚行する次第です。

本年は診療報酬・介護報酬の同時改定、医療計画や介護事業計画がスタートする年にあたります。人口減少という社会環境の変化がリアリティを持って迫る中、次年度の消費税の問題などを考慮すると、まさに疾風怒涛の時代の始まりと言っても過言ではありません。医療を守る強い志と先を見通す知恵が問われるのだと思えます。

山積する諸問題を会員病院の先生方としっかりと議論し、共同して明日の医療のために取り組むことができればと考えています。本年も、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって、本年が素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

会長 香川 恵造 (市立福知山市市民病院)

副会長 森 本 泰介 (京都市立病院)

副会長 辰 巳 哲也 (京都中部総合医療センター)

理事 尼 川 龍一 (日本バプテスタ病院)

理事 池 田 栄人 (京都第一赤十字病院)

理事 小 野 晋司 (三菱京都病院)

理事 小 西 郁生 (国病機構京都医療センター)

理事 小 林 裕 (京都第二赤十字病院)

理事 島 崎 千尋 (京都鞍馬口医療センター)

理事 杉 山 博 (国病機構宇多野病院)

理事 中 村 直登 (済生会京都府病院)

理事 宮野前 健 (国病機構南京都病院)

理事 山 下 俊幸 (京都府立洛南病院)

理事 若 園 吉裕 (京都桂病院)

監事 倉 澤 卓也 (京都予防医学センター)

監事 依 田 建吾 (介護老人保健施設マタオーレ)

平成30年度 診療報酬改定率が決定

昨年12月18日、平成30年度の診療報酬改定率が決定しました。改定率は全体(ネット)で▲1.19%、診療報酬本体+0.55%、薬価・材料価格▲1.74%となりました。改定率の決定を受けて、今後、中医協において具体的な点数配分の議論が始まります。

診療報酬改定

- 1. 診療報酬本体 +0.55%
 - 各科改定率 医科：+0.63%
 - 歯科：+0.69%
 - 調剤：+0.19%
- 2. 薬価等
 - ①薬価 ▲1.65%※
 - うち、実勢価等改定 ▲1.36%
 - 薬価制度の抜本改革 ▲0.29%
 - ②材料価格 ▲0.09%

介護報酬改定

改定率 +0.54%

障害福祉サービス等報酬改定

改定率 +0.47%

平成29年度 救急医療功労者 厚生労働大臣表彰

野口雅滋氏が受賞 (社会福祉法人京都社会事業財団会長)



本会顧問の野口雅滋氏(社会福祉法人京都社会事業会長)が平成29年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞されました。野口氏は、京都桂病院の院長として、長年にわたり救急医療体制の充実に邁進され、京都府病院協会においては13年にわたり役員を務め、会長在任中は、京都府医療審議会委員等、行政の要職を歴任されました。その功績が認められ今回の受賞となりました。先生のご受賞を心よりお喜び申し上げますとともに、

今後のますますのご活躍を祈念いたします。

第53回 京都病院学会 多数、ご参加ください!

今年も平成30年6月10日(日)、池坊短期大学にて第53回京都病院学会が開催されます。今回の学会は京都私立病院協会が担当し、学会長には京都私立病院協会副会長の富田哲也先生が就任されました。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成30年6月10日(日) 午前9時～午後5時 場所：池坊短期大学

テーマ：病院の認知症対応と京都地域包括ケアへの取り組み

共催：京都私立病院協会・京都府病院協会 参加費：医療関係者は無料(一般参加は1,000円)

<京都病院学会事務局 連絡先>

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地COCON烏丸8階(京都私立病院協会内)
TEL:075-354-8838 FAX:075-354-8802 MAIL:gakkai@khosp.or.jp

平成29年度

京都府保健医療・ 救急医療功労者等知事表彰

本会から個人2名、 1団体が受賞

平成29年度京都府保健医療・救急医療功労者等知事表彰の表彰式が昨年11月に執り行われ、京都府病院協会からは保健医療・救急医療の各部門において、個人2名と1団体が受賞されました。受賞者は以下のとおり。先生方の受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

《保健医療功労》

個人の部

中村直登氏
(済生会京都府病院)

団体の部

京丹後市立弥栄病院

《救急医療功労》

個人の部

香川恵造氏
(市立福知山市民病院)

